

活動報告書

(比嘉地区ふれあい農村美化活動)

■市町村名■

うるま市

■活動主体または地域リーダー■

比嘉区自治会長 玉那覇清勇

■活動日■

令和3年9月～令和4年2月

■参加者、人数■

環境美化活動 25人 ・ 農業体験 15人

■関連事業■

団体営一般土地改良事業

■基金事業を活用した理由■

農地の環境美化活動を実施し、当該農地を活用した農業体験を行うことで地域住民の農業への関心を高めると共に地域コミュニティの活性化を図る

■活動内容■

環境美化活動・農業体験・収穫祭(新型コロナの為、中止)

■活動効果■

区民が農業体験をする事で農業従事者を増やす事ができる。・子供たちが体験を通して食の大切さを学ぶ。美化活動を通して区内の環境保全を図る。地域住民の交流を深め活性化を図る。

■活動費用■

251,322円(内、ふるさと農村活性化基金 250,000円)



【写真集2】 耕耘 ・うねとり 10月3日～5日



【写真集3】 うねとり 10月7日～15日



【写真集】 No.4 ひまわりの種まき 10月31日





【写真集】6 野菜の成長状況



【写真集7】ひまわりの成長状況



【写真集 8】 収穫状況



活動報告書

豊年祭と耕作放棄地活用や地域産農作物による地域活性化

■市町村名■

沖縄県うるま市与那城伊計

■活動主体または地域リーダー■

伊計自治会
自治会長 玉城 正則

■活動日■

- ・令和3年 4月 10日 (脱穀作業)
- ・令和3年 4月 27日 (麦コーヒの振る舞い)
- ・令和3年 5月 初旬 (小麦粉袋詰め)
- ・令和3年 6月 初旬 (緑肥播種)
- ・令和3年 8月 20日 (麦茶とぜんざいの振る舞い)
- ・令和3年10月 下旬 (麦播種)
- ・令和3年11月 下旬 (麦踏み体験)
- ・令和3年12月 12日～令和4年1月中旬 (ヒマワリ播種)

■参加者、人数■

約50人

■関連事業■

■基金事業を活用した理由■

農村公園を活用し、五穀豊穡と地域の繁栄を祝う“豊年祭”の開催を通して地域の農業への興味関心を啓発し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層での世代間交流と地域芸能の伝承を行なう事により住民の団結と活性化に寄与する。また、不耕作農地に昔地元で栽培されていた麦を植える事により、不耕作農地の解消、麦生産復活と生産継続を通して地域リーダーの育成を図る。地域住民と伊計島への移住者によって、麦を活用した特産品の開発や麦の手刈り作業を行う事により地域住民と移住者の交流を図り地域活性化に資する。

■活動内容■

伊計島内農地におけるサトウキビ、芋、葉タバコに続く第4の基幹作物として麦を生産し、その作業過程で参加者の交流を図り、特産品化する事により伊計島及び島しょ地域の活性化に寄与する。

■活動効果■

本事業で植えられたひまわりと海を観ることで観光資源として活用出来ている。また、自治会の生産面積(400坪)から3戸の生産農家が小麦作りに参加し、伊計島の小麦の作付け面積も5倍(2000坪)余りに増え無農薬、無科学肥料のオーガニック食品として波及効果が出ている。

■活動費用■

242,467円(内、ふるさと農村活性化基金239,000円)

【写真集】①



製粉された小麦



麦コーヒー用に焙煎された小麦（右側）



地域住民へ麦コーヒーのふるまい。



麦畑 土作り



機械による播種作業



麦踏み体験



県外の高校と提携し、授業の一環として地域住民に収穫した麦で作った麦茶とぜんざいを振る舞い。

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

【写真集】②



各農家より畑の一部を提供してもらいヒマワリを植える。



フラワーロードの土づくり。



地域住民によるヒマワリの播種作業。



地域住民の世代間交流となりました。

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。